

令和８年度 第１回 三郷市青少年問題協議会会議録					
開会の日時		令和８年 ７月１０日（金） 午後２時００分			
閉会の日時		令和８年 ７月１０日（金） 午後３時１０分			
開催場所		全員協議会室			
出席状況		委員１３名 事務局１１名			
議 題		(１) 教育委員会における青少年行政施策について (２) その他			
席次番号	委員氏名	摘要	席次番号	委員氏名	摘要
１	木津 雅晟	出席	１１	竹内 亜希子	出席
２	三國 尚恵	出席	１２	兒玉 雄一	欠席
３	小山田 弘樹	出席	１３	山本 夢乃	欠席
４	染野 昌弘	出席	１４	清水 睦美	出席
５	滝沢 慎	出席	１５	高橋 和貴	出席
６	松本 晃一	出席			
７	瀬上 玲子	出席			
８	郡 大毅	出席			
９	篠田 俊教	出席			
１０	岩間 かおり	出席			
事務局出席者名		檜垣教育長			
		横田生涯学習部長、名川生涯学習部副部長兼生涯学習課長、藤井参事兼指導課長、菅野主任指導主事			
		中村青少年課長、尾形専門指導員、森島企画係長、荒木事業係長、田代主任、池上主事			
会議の概要または特記事項					
傍聴人数：１人					

会議名	令和8年度 第1回 三郷市青少年問題協議会
	次 第 1 開 会 2 委嘱書交付 3 会長あいさつ 市 長 木津雅晟 4 委員自己紹介・職員紹介 5 議 事 議 長 (会長)
議長	(1) 教育委員会における青少年行政施策について それでは本日の議事に入ります。 「議事1」教育委員会における青少年行政施策について、事務局より説明をお願いします。
事務局	事業概要・実施状況の説明（青少年課・指導課） 別添 発表資料のとおり
議長	(2) 意見交換 ただいま、教育委員会における青少年行政施策について、事務局から説明がありました。 近年、青少年を取り巻く環境には大きな変化が生じております。事務局から説明がありましたとおり、本市におきましても、様々な青少年行政施策に注力しているところでございます。 これらを踏まえまして、「議事2」 意見交換に入ります。ただいまの説明内容につきまして、ご質問やご意見がございましたら挙手をお願いいたします。 いかがでしょうか。
委員	今、家庭や市内のPTAでは、SNSを通じたトラブルが課題となることが非常に増えており、私のところにも多数の相談が寄せられております。そうした相談については、学校にももちろん上げています。ただ本来、SNSトラブルは家庭が指導するものだと思います。 子どもたちの様子をみていると、LINEの中で言葉遣いが非常に悪かったり、卑猥な言葉が飛び交ったりしています。子どもたちがYouTubeやTikTok、Instagramなどから情報を入手し、気軽にLINE上に載せてしまったり、仲間外れにしたりするという状況です。 しかし、下校後の話であるため、学校側はなかなか関知しづらいのが現状です。一方で、家庭で一保護者から相手の子どもに直接どうこう言うこともできないため、やはり学校に相談するしかないと思って動いていますが、学校側の指導の様子が見えにくいところがあります。学校はLINE上のやりとりの実態把握

事務局	が難しく、学校現場でも日々本当に苦労されているのだろうとは察しますが、保護者としてはやはり何とかしてほしいというのが現状です。 また、保護者からよく言われるのは、「学校の対応の見える化ができていない」ということです。実際に、学校がどのように解決へと動いて今どういう現状になっているのかが、あまり保護者に伝わってきません。そのため、教育委員会として、対応の流れを示したマニュアルがあるのかを知りたいというのが、まず一つ目です。そして、予防のための啓発活動についても、今後もPTA連合会と手を取り合って連携していただけたらと思っております。 次に「親の学習」に関してです。私はファシリテーターをやっているので親の学習を知っていますが、先日、連合会の本部役員会を開いた際、親の学習を知らない本部役員がいました。また、自分の学校の保護者に聞いても「親の学習って何？」と言われることが本当に多いです。コロナ前は、授業参観や懇談会の後に親の学習の講座が開かれ、多くの保護者が参加していたので浸透していましたが、現在は講座数が減り、周知が少なくなってしまうと感じます。これについては、PTAの方でも積極的に親の学習を導入していくなど、協力して連携を深めれば保護者へ周知していけると考えていますので、ぜひ協力していきたいです。 最後に「きらめきチャレンジ教職員表彰」についてです。これはとても素晴らしい取り組みだと思いますが、一般の保護者にはほとんど知られていません。先日、自校の主幹教諭が表彰されたので、私はPTA総会のときに保護者へ向けて「うちの学校にはこんな素晴らしい先生がいるので、安心して子どもたちを学校に通わせてください」と自慢をしました。このように、この表彰をもっとアピールしていけば、学校や先生に対する保護者の不信感も減ってくるはずです。「三郷市には素晴らしい先生がいっぱいいるんだ。」ということが伝わるよう、周知徹底や連携をもう一步深めていければと思っております。 子どもたちが安心して友人関係を築き、笑顔で学校に通えるよう、もっとPTA連合会を頼ってください。手を取り合って連携し、サポートしていきます。よろしくをお願いします。 ご質問ご意見等ありがとうございました。まずSNSに限らず、トラブルが起きた際は、詳細かつ確実な事実確認をさせていただいた上で、指導が必要な状況だと判断した時点で子どもたちへの指導を行っております。また、より大きないじめやトラブル等が発生した際のマニュアルについても、当市で作成しております。 ただ、SNS指導の難しい点は、「詳細で確実な事実確認」を行うにあたり、実際にやりとりしたスクリーンショットの提出や、保護者の方に端末を持っていただくなど、子どもたちのプライバシーに関わる部分に深く突っ込んでいくことになる点です。そのため、ご家庭へ経過を報告する際にも、関わっていた子
-----	---

	どもたちがそれぞれどんな発言をしたかをすべてお伝えすることには難しさがあると感じております。 しかしながら、子どもたちがより良くなるようにという点においては、教職員が一丸となって組織的に対応していることに間違いありません。また疑問に思われたことがあれば、その都度お伝えいただければ、教職員が回答できる範囲でしっかりとお答えしてまいりますので、ご理解いただければと思います。 予防のための啓発活動については、各学校で講師を招いた「SNSの使い方講座」などを実施しているほか、教育委員会からも随時、指導に活用できる資料などを提供しております。また、現在の道徳の授業の中でも、言葉遣いや相手に配慮した接し方などを取り扱っておりますので、トラブルの防止とともに、子どもたちの心を耕していくような指導も合わせて実施してまいります。
事務局	貴重なご意見をありがとうございます。まず、SNSの啓発について、PTA連合会と連携・協力させていただけるというのは本当にありがたいお話です。子どもたちのために、ぜひご協力よろしく願いいたします。 また、親の学習の周知が不足しているという点につきましてはご指摘のとおりだと思いますので、今後、どのような周知方法があるか検討してまいりたいと思います。本日は貴重なご意見をありがとうございました。
議長	ありがとうございました。他にございませんか。
委員	色々ご提示いただいた施策等に関連して、私達の学校、および中学校区で取り組んでいる「青少年の健全育成に関わる取り組み」についてお話をさせていただきます。 本校は、彦糸小学校、彦郷小学校、彦糸中学校の3校からなる彦成中学校区に属しておりますが、当中学校区では年2回、「彦郷会」を開いており、先生方の合同研修を行っています。つい先日行われた彦郷会では、9年間を見通した子どもたちの育成と学力の向上をねらいとした研修を行いました。 学力を上げるためには生徒指導の共通理解が必要であるということで、今年度は「生徒指導の事例研修」を実施しました。いくつか具体的な事例を挙げ、そういう場面に直面したときにどう対応すべきかを、それぞれの学校の先生方でグループになって話し合いを行いました。 中学校の先生と小学校の先生たちが同じ土俵で一緒になって、子どもたちの事例に向き合うという取り組みです。まさに先ほどお話があったSNSのトラブルについても今回取り上げ、「保護者との関係をどう構築するか」「学校としてどこまで子どもたちの持っている端末を見せてもらうか」といった実務の難しさについても、話し合いの中で意見が出てきました。 こうした取り組みを少しずつ積み重ね、教員同士が連携を深めていくことが、

	子どもたちを育てていく上でのより良い方向性につながるのかなと考えております。 また、地域の育成会が発展的解消されたことに伴い、本中学校区の育成会では「学校運営協議会の合同開催」をやろうということになり、3校合同の学校運営協議会を5月に開催いたしました。 まだ、これからどういう方向性で具体的に動いていくかについては模索している状況ではありますが、それぞれの学校が同じ目標を持って子どもたちを育てていこうということで、現在話し合いが進んでいます。以上です。
議長	ありがとうございました。他にございませんか。
委員	私からは、犯罪情勢と密接にリンクする「少年非行の情勢」についてお話をさせていただきます。 先ほど自己紹介でもお伝えいたしましたが、私は以前、埼玉県警本部で犯罪情勢を担当する課の補佐をしておりました。そこで、まずは県下の犯罪情勢からお話しします。 埼玉県内の刑法犯認知件数は、平成16年の約18万件をピークに、平成17年からは右肩下がり減少してきました。コロナ禍も重なり、令和3年には約4万件と、ピーク時の4分の1にまで減少いたしました。 しかし、コロナ禍が明けて社会活動が活発化すると、翌令和4年からは逆に右肩上がりで増加に転じています。4年、5年、6年、7年と4年連続で増加しており、令和7年の認知件数は約5万3,000件となりました。コロナ禍前である令和元年の約5万5,000件に、だいぶ近づいている状況です。 今年の上半期の数値を見ると、県全体では若干のマイナスとなっていますが、我が吉川警察署管内（三郷市・吉川市・松伏町）においては、残念ながらプラスに転じている現状があります。 非行情勢とリンクすると申し上げたのは、やはり犯罪の一部を少年犯罪が占めているからです。少年が最初に起こしてしまいがちな「初発型非行」と呼ばれるものには、万引き、自転車盗、オートバイ盗などがあります。このうち、当管内では万引きとオートバイ盗が増加しており、自転車盗がギリギリでプラスマイナスゼロという状況です。 三郷市にお住まいの方は実感されているかもしれませんが、夜、オートバイの音がうるさいと感じることはないでしょうか。オートバイ盗が増加している背景には、やはり少年による犯罪が一定数あるものと考えています。 また、令和7年の非行情勢の具体的な数字を見ますと、県下の少年検挙人員は1,511人で、前年比プラス220人でした。 ここからは、少年に特化した身近な対策として「自転車盗」についてお話しします。

議長	現在、自転車盗は県内の認知件数の中で最も多く、全体の約3割を占めています。盗まれる際の状況を調査したところ、被害に遭った自転車の約6割が無施錠でした。 「鍵をかけても、かけなくても盗まれるときは一緒ではないか」と思われるかもしれませんが、被害が多発している駐輪場を県警で調査したところ、全体の90～95%の人はきちんと鍵をかけていました。つまり、100台のうち無施錠なのは5～10台だけです。自分が犯人になったと想像してみてください。わざわざ鍵がかかっている自転車を盗むでしょうか。100台探せば5～10台は鍵のかかかっていない自転車があるため、それが狙われてしまうのです。ですから、まずは鍵をかけていただくことが重要です。 先ほど「全体で約6割が無施錠」と言いましたが、これを小・中・高校生に絞ると、なんと「被害者の約7割が無施錠」というデータが出ています。 なぜ鍵をかけないのかというと、理由はやはり「面倒くさいから」です。 さらに盗まれる場所を調査すると、小・中・高校生が被害に遭う場所で圧倒的に多いのは、実は「自宅（一戸建て・集合住宅の敷地内）」です。おそらく、幼少期の子ども用自転車のときは鍵をかける習慣がなく、大人用の自転車に買い替えてからも、そのまま自宅敷地内で鍵をかけない習慣が残ってしまっているのだと考えられます。 また、これから夏休みに入ると、子どもたちは大型ショッピングモールやコンビニエンスストア、スーパーなどにもよく出かけます。「ちょっと5分くらい買い物するだけだから大丈夫」という一瞬の油断から、出先で無施錠のまま停めて盗まれるケースも多発しています。 こうした現状を踏まえ、お願いしたいポイントは次の2点です。 ① 自宅敷地内に停めるときでも、必ず鍵をかけること。 ② 短い時間の駐輪であっても、必ず鍵をかけること。 わかりやすくこの2つのポイントで、県警本部の方からも働きかけをしていますが、なかなか浸透していないという話もあります。 そこで、この場をお借りして、ぜひ三郷市内の小・中・高校生が被害に遭わないように、皆様の指導の参考にしていただければと思い、お話をさせていただきました。ありがとうございました。 どうもありがとうございました。自転車盗については、ちょっとした油断や気の緩みが犯罪に繋がってしまう傾向があります。日常からそういう鍵をかける習慣をつけるなど、事前に防げることをやっていくのが、少年の犯罪抑止力に繋がるのではないのでしょうか。 本来であれば、委員の皆様お一人お一人から、ご意見をいただきたいところでございますが、時間に限りもございますので、以上をもちまして「議事2」を終了させていただきます。
----	---

議長	(3) その他 続きまして「議事3」その他に入ります。事務局から報告はありますか。
事務局	次回の協議会日程について
議長	本日は、委員の皆様から大変貴重なご意見やご提言をいただき、誠にありがとうございました。本日いただきましたご意見につきましては、今後の青少年行政の推進に広く役立ててまいりたいと考えております。 長時間にわたりご審議をいただき、誠にありがとうございました。 以上をもちまして、議事がすべて終了いたしましたので、進行を事務局へお返しします。 6 閉 会